

子どもは褒めて伸ばそう

学校長

「いつまでゲームやってんの、早く勉強しなさい。」

多くの家庭で耳にする言葉です。子どもたちは、注意しないとなかなか動かないものです。子どもにしてみたら、注意されると、ますますやる気をなくしてしまいます。だからといって、何も言わないわけにはいきません。どう言えば、子どもはやる気を起こすのでしょうか。

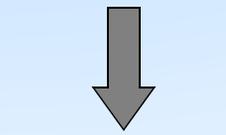
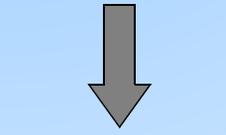
人間が行動を起こす「動機」は、大きく二つに分けられます。「苦痛を避けたい」と「快感を得たい」です。

「苦痛を避けたい」という動機から起こす行動は、「一度きり・その場限り」になってしまいます。例えば、猛獣から逃げ延びた人が、もう一度逃げてみたいとは思いません。

人間は、「褒められる」として快感を感じる「ことを知っています。だから、「また快感を得たい」という動機から、同じ行動をとります。そして、また褒められます。それを繰り返すことで、快感は徐々に潜在意識に刻み込まれます。すると、「もっともっと」と、また同じ行動をしたくなります。

褒めて子どもを動かすには、注意して動かすよりも時間がかかりませんが、しかし、褒めることで、子どものやる気を引き出してしまえば、その後は自主的に行動するようになります。

問題は、ここからです。褒めることは非常に難しいのです。よく言われる極意は、「まだできていないことを褒める」「他人の前でも褒める」ことです。「言うは易く行うは難し」ですが、今日から実践してみてくださいいかがでしょうか。



「思いやり週間」

12/3～12/7

「温かい聴き方・優しい話し方をしよう」をめあてに、全校一斉に取り組みました。今後も本校は、思いやりあふれる児童の育成を目指していきます。



持久走大会



12月5日、寒空の下、持久走大会が開かれました。低学年は定時間走、中学年・高学年は定時間走か、定距離走を選択して行いました。子どもたちは日々の練習の成果を発揮し、全員が懸命に走りました。参観された保護者の方々の応援も、子どもたちの力になったことと思います。温かい応援、本当にありがとうございました。

二宮活動(落ち葉拾い)

11月16日
本校児童全員で学校内の落ち葉拾いを行いました。ペア学年となり、割り当ての箇所での活動しました。自分たちの手でよりよい環境づくりを進め、豊かな心情を育てること、異学年と一緒に作業することで、助け合う心、思いやる心を育て、よりよい人間関係を築くことが目標です。
子どもたちは一生懸命に落ち葉を拾いました。来年も緑や花いっぱいの学校になることでしょう。



授業参観・バザー

11月21日
授業参観と、PTA主催のバザーが開催されました。授業参観・バザーとも、多くの保護者の方々にご参加いただきました。保護者の方々の御尽力もあり、子どもたちの笑顔あふれる行事となりました。また、PTA役員の皆様には、前日からバザーの準備に御尽力いただきました。たくさんの方の御協力、本当にありがとうございました。



五年生 社会科見学

12月11日、五年生はクボタ宇都宮工場へ社会科見学に行きました。どのようにして農業機械が作られているか、教科書で学習した自動車工場と比べながら、共通点をたくさん探すことができました。また、企業のグローバル化についても、具体的なデータとともに、わかりやすく学ぶことができました。



スケート教室

一年生

ひさしぶりのスケートでした。さいしよは、すべってもすぐころんでしまったけれど。だんだん慣れて、うまくすべれるようになります。またこんどやりたいです。

一組 Y・M

わたしは、さいしよはスケートがこわいとおもっていません。はじめはすべれなかったけれど、れんしゅうをしたら、たてるようになったので、うれしかったです。

二組 Y・S

ぼくは、スケートをやるのがはじめてなので、とてもドキドキしていました。ゴマちゃんコースで、きょうとうせんせいやともだちのおとうさんにおしえてもらって、すこしずつすべれるようになりました。とてもたのしかったです。またスケートをやりたいです。

三組 R・Y

三年生

ぼくはスケート教室に行きました。さいしよは転んでばかりでした。すべってもすぐに止まってしまいました。そこで、先生にコツを聞いて、ダッシュして止まったらスピードが上がりました。まだ行きたいと思いました。

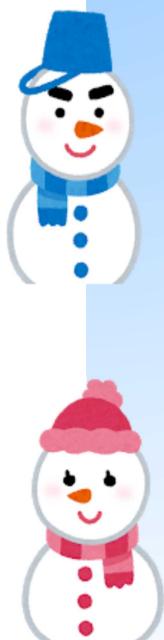
一組 K・Y

ぼくは、スケート教室に行って、さいしよはすべれるようになったけど、たくさん練習したので、もっと練習をすべれるようにしたいです。

二組 Y・Y

さいしよはなれなかつたけれど、ずっとすべっていたらなれてきました。でもたまに転ぶときもありました。ぼくは、スケートを練習してうまくなりたいです。スケート教室は、とても楽しかったです。また家族で行ってみたいです。

三組 Y・K



五年生

ぼくは、社会科見学でクボタ宇都宮工場に行きました。強く印象に残ったことは、部品の組み立てのところ。一個一個責任感を強くもって作っているところが、その商品に対しての熱意を感じられて、いいと思いました。一人ではなく、働いている人みんなが協力していることがすごかったです。

一組 R・N

クボタ宇都宮工場に行って、いろいろなことにおどろきました。外国にも会社があること、機械の方が人より多く働いていること、海外売り上げの方が多いことなどです。また、これらのことをもっと知りたいという気持ちもわきました。工場の人たちにはこれからもがんばってほしいです。

二組 S・H

わたしが社会科見学で一番心に残ったことは、田植え機のごさです。一秒に六十本のお米の苗を植えることができます。田植え機があると知って、おどろきました。人間と比べてとても速いと思いました。この機械のおかげで、農家の人は楽になったと思います。クボタはいろいろな機械を作っています。すごいなと思いました。

三組 S・T

社会科見学

二年生

「わたし、ちゃんと走れるかな。」

さむい朝だったので、少ししんぱいになりました。でも、お母さんやお父さん、おじいさんやおばあさんが、「がんばれ、がんばれ。」とおうえんしてくれました。そのおかげで、力がわいて、気もちよく走り切れました。

一組 E・H

ぼくは、じきゅう走で七百メートル走りました。目ざしていたきよりは、七百五十メートルでしたが、がんばって走ってよかったです。せつたい来年は、今年よりがんばって走りたいです。

二組 A・M

わたしは、じきゅう走大会で、五百メートル走ることができました。目ひょうはたっせいでできなかったけど、五年生のペアで組んだ女の子が、「がんばったね。」と言ってくれたのでうれしかったです。来年は、もっときろくをのばせるように、がんばります。

三組 K・T

持久走大会

六年生

私は今年の持久走大会を通して、苦しいことがあってもがんばればどんなことがあっても乗り越えることができると分かりました。本番疲れてしまったけれど、いろいろな人が「がんばれ。」と応援してくれたので、最後まで走りきることができました。これから毎日運動していきたいです。

一組 K・Y

私が持久走大会でがんばったことは、止まらずに走りきったことです。最初は六分間にしようと思ったのですが、もう六年生だし、これで持久走大会は最後だと思ったので、八分間にチャレンジしました。走り終わった後に達成感を感じられたので、チャレンジしてよかったです。

二組 S・I

私は持久走大会で学んだことが二つあります。一つ目は、何事にも努力することが大切だということです。二つ目は、最後まであきらめないことです。

この持久走大会では一位をとることができたけれど、それは、ライバルがいたからこそだと私は思いました。

三組 M・M

★〈子どもの人権を守ろう〉
「いじめ」をしない・させない・みのがさない★

四年生

ぼくは今年、定きより走を選びました。ぼくの目標は、六分を切ることでした。でも六分は切れませんでした。けれど、試走のときより速いタイムを出せたのでよかったです。来年は目標を達成したいです。

一組 K・Y

ぼくの持久走大会の思い出は、全力で走ることができたことです。がんばって走って、千メートルをこえることができました。千メートルまで全力で走ることができたので、とてもうれしかったです。来年も千メートルをこえたいです。

二組 H・T

ぼくは、持久走大会当日、すぐドキドキしていました。しかし、力を出し切ってせいはいっぱい走りました。最初は目標が四分でした。でも、練習で走れたからできると思い、目標を六分にしました。六分間ちゃんと走れてうれしかったです。練習のときより三百メートル近くのびて、すごうれしかったです。

三組 K・K